

神戸発祥の総合商社の源流・鈴木商店を知る

「鈴木商店記念館」第3回講演会のご案内

鈴木商店と関門コンビナート

および筑豊炭鉱事業

～北九州各地に現存する鈴木商店の産業遺産～

鈴木商店が総合商社と呼ばれるに至った発展のきっかけは、門司大里地区における製糖工場建設にあります。関門海峡の兩岸には鈴木商店が建設した工場群が現役工場として多く現存しており、コンビナートとしてのつながりを今に伝えています。

関門海峡兩岸と筑豊各所に遺る鈴木商店の足跡とともに、北九州工業地帯の発展と軌を一にした鈴木商店の飛躍の時代を伝える工場建築、さらに謎の多い鈴木商店の石炭事業についてご紹介いたします。

- 日時……平成30年12月15日(土) 14:00～15:00
- 場所……神戸ポートオアシス5階 502会議室(神戸市中央区新港町5番2号)
- 定員……先着60名
(受付は11月15日(木)から、下記申込み先にお電話で、参加者全員の氏名・住所・電話番号をお伝えのうえお申込みください。参加料は無料です。)
- 講師……市原 猛志氏

いちほらたけし <市原猛志氏のプロフィール>



- ・北九州市門司麦酒煉瓦館館長
 - ・九州大学大学文書館協力研究員・博士(工学)
(九州大学百年史編集室元助教)
 - ・北九州市(仮称)平和資料館担当学芸員
 - ・産業考古学会理事
 - ・国際産業遺産保存委員会(TICCIH)会員
 - ・特定非営利活動法人J-heritage理事
- 主著として、『北九州技術革新史(全体編)』(単著)、『北九州の近代化遺産』『福岡の近代化遺産』『筑後の近代化遺産』(ともに共編著)等多数。

※お申込み・お問い合わせ……神戸市イベント案内・申込センター

TEL: 078-333-3372 (受付時間: 9時から21時まで 年中無休)

《主催:神戸市みなと総局計画部港湾計画課》

